

第2回次期総合振興計画（区の将来像）に係る岩槻区検討懇話会

次 第

日 時 平成31年1月21日（月）
午後2時から

場 所 岩槻区役所 第1会議室

1 開会

2 意見交換

(1) 岩槻区の将来像改定素案たたき台について

3 閉会

【当日配付資料】

- ・ 次第
- ・ 委員名簿
- ・ 席次表

【事前配布資料】

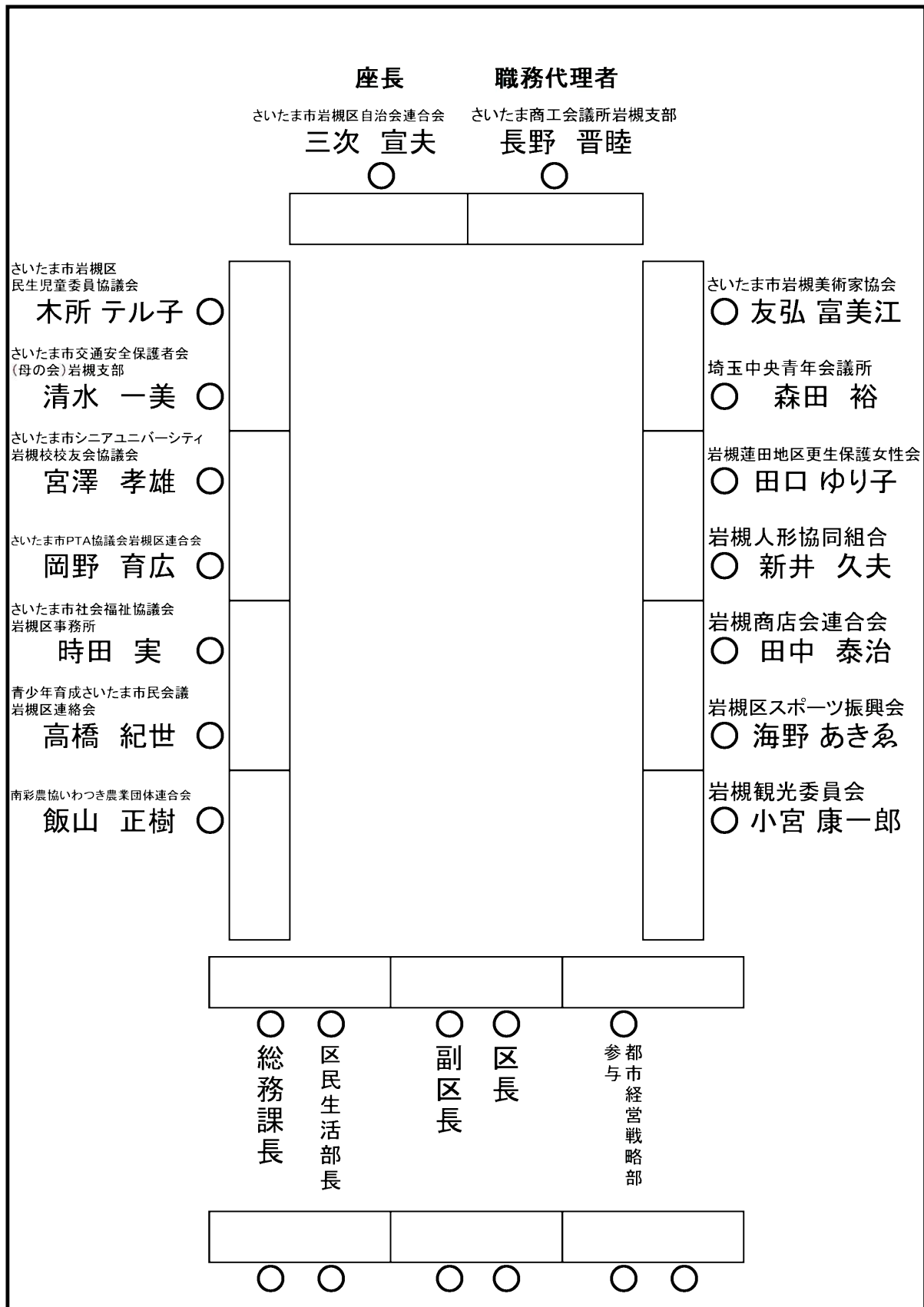
- ・ 資料1 第1回岩槻区検討懇話会と市民ワークショップにおける主なご意見
- ・ 資料2 岩槻区の将来像改定素案たたき台

次期総合振興計画（区の将来像）に係る岩槻区検討懇話会委員名簿

	団体名	氏名
1	岩槻観光委員会	小宮 康一郎
2	岩槻区スポーツ振興会	海野 あきゑ
3	岩槻商店会連合会	田中 泰治
4	岩槻人形協同組合	新井 久夫
5	岩槻蓮田地区更生保護女性会	田口 ゆり子
6	公益社団法人埼玉中央青年会議所	森田 裕
7	さいたま市岩槻区自治会連合会	三次 宣夫
8	さいたま市岩槻美術家協会	友弘 富美江
9	さいたま市岩槻区民生児童委員協議会	木所 テル子
10	さいたま市交通安全保護者会（母の会）岩槻支部	清水 一美
11	さいたま市シニアユニバーシティ岩槻校校友会協議会	宮澤 孝雄
12	さいたま商工会議所岩槻支部	長野 晋睦
13	さいたま市PTA協議会岩槻区連合会	岡野 育広
14	社会福祉法人さいたま市社会福祉協議会岩槻区事務所	時田 実
15	青少年育成さいたま市民会議岩槻区連絡会	高橋 紀世
16	南彩農協いわつき農業団体連合会	飯山 正樹

（五十音順・敬称略）

次期総合振興計画(区の将来像)に係る岩槻区検討懇話会 席 次



(敬称略)

第 1 回岩槻区検討懇話会と市民ワークショップにおける主なご意見

※黒字は区検討懇話会、赤字は市民ワークショップからの主な意見。

※「まちづくりのポイント」、「将来像」、「その他のご意見（特に特定するポイントがない場合など）」の視点で分類した。

※網掛けは、「区の将来像たたき台（案）」（資料 2）作成の際、特に留意した意見。

※「まちづくりのポイント」に関する主な意見は、現行の後期基本計画の該当する「ポイントの説明書き」で分類した。（資料 2 の「（）」の番号を参照）

また、意見が複数の説明書きに該当する場合は、【 】で該当する説明書きの番号を記載。

[例] 【1 - 1・4】は、「まちづくりのポイント 1」の「説明書き (1) と (4)」にそれぞれ該当。

【Ⅰ】岩槻区における「課題」、「将来への期待」、「まちづくりのポイント」に関するご意見

1 多世代の参加と交流による、区民主役のまちづくり

(1) 住民同士のふれあいなどによる活力豊かな地域コミュニティの醸成

1 若者の定住に向け取組む必要がある。また県営住宅に入居する若い世代との交流が課題になっている。

(2) 区民と行政が連携した地域コミュニティの活性化に必要な仕組みづくり

(3) 住民があらゆる分野で交流し、多様な文化を認め合い、暮らしを支え合う身近な国際交流の推進

(4) 区民と行政とのパートナーシップの確立、区民の主体的なまちづくり活動に対する支援などによる、区民と行政が共に考え、はぐくむまちづくりの推進

1 区の中で活動している団体間をつなぐ役割を果たす組織が無く、行政と取組みを行いたいと考えている。

2 区主催の同窓会

(5) 人形づくりや田植えなどの様々な体験を通じた、子どもの地域に対する愛着心や誇り、喜びをはぐくむ地域交流や教育の推進

2 地域資源を生かした、魅力とにぎわいを創出するまちづくり

(1) 元荒川や赤坂沼、屋敷林・雑木林や斜面林など豊かな自然環境を守り、育てる活動の充実と、水辺と緑のネットワーク化の推進

1 緑が多い 【2-1、3-3】

(2) 子どもの頃から優れた文化芸術に触れる機会の充実、区民の多彩な文化芸術活動の促進など、豊かな文化環境づくりの推進による、個性ある地域文化の育成

1 岩槻に程よい大きさのホールがないので、他市に行っている状況である。300～400人のホールがあれば良い。

2 300～400人収容程度のホール建設に係る内容を入れたい。

(3) 人形をはじめとする歴史や文化に根ざした「岩槻らしさ」を磨き、発信し、都市型観光の形成に向けた受入環境の整備

1 ひな祭り期間は賑わうが、その他の時期は賑わっておらず、対策をお願いしたい。

2 駅の中の観光案内所をもっと活用したい。また駅の東西で活気が異なるように感じる。

3 岩槻といえば、歴史・文化・城下町であるが、さいたま市の中で岩槻の歴史と文化が認知されていない。

4 埋もれている地域資源の発掘、を入れたい。また情報発信の文言を加えたい。

5 岩槻駅案内所の活用について、地域製品のPRをできるようにしたい。

6 他から人を呼び込むようにするには、駐車場の整備や岩槻城、道の駅等の箱物整備が必要ではないか。

7 区をあげて旅行会社等に区を売り込む必要がある。

8 歴史（岩槻城址）・伝統（人形）がある

9 歴史や伝統のPRができていない

10 岩槻の歴史を学ぶ勉強会

11 人形をもっと売り出す

12 城の再建

(4) 環境に優しく、安全な食料を提供する農業の振興や観光農園、クワイ・コマツナ等農産物のブランド化の推進

1 農業では、高齢化の中でも若手が頑張っている。（ヨーロッパ野菜など）

2 交通の利点を生かす点からも道の駅など農産物を扱う施設があると良い。

3 小松菜について生産が盛んだが、地域間競争の中にある。

4 豊富な地元グルメ

5 小さな道の駅（空き地の活用）

3 生活環境の整った、安全・安心で暮らしやすいまちづくり

- 1 地区は高齢化しており交通の便が向上するとよい。
- 2 高齢者が区内を移動する手段が十分でない。

(1) 次代を担う自立した青少年の健全な育成の推進

(2) スポーツなど健康づくりのための機会や場所の充実

1 ランニング、ウォーキングコースの充実

(3) 緑や水辺、歴史、文化が溶け合う美しい景観に恵まれた、ゆとりのある居住空間の維持、創出

- 1 緑が多い 【2-1、3-3】
- 2 古い建造物が残っている
- 3 静かに暮らせる

(4) 歩行者及び自転車利用者が安心して通行できる安全なみちづくり

- 1 交通ルールとマナーが守られる区になるよう取り組みを続けていきたい。

(5) 交通利便性の向上とにぎわいを創出する地下鉄7号線の延伸促進

- 1 区内の地域間格差解消が課題である。将来に向けては地下鉄が延伸されるか次第であると考えている。
- 2 座って談笑できるベンチ、場所を役所の中も含めてお願いしたい。また区内の交通網が不十分と感じている。
- 3 地下鉄が通ると街が変わると期待している。
- 4 駅の近くの大型店舗が閉鎖し、買い物に行く場所がなくなっている。
- 5 都内等へのアクセスの点から人口減少は予想され、地下鉄の開通を期待している。
- 6 子供たちが成長したときに岩槻から出ていかない取組を行っていく必要がある。交通手段も一つだ。
- 7 今後は観光地化に向け地下鉄と岩槻城があると良く、設置に向けた取り組みが普及すると良い。
- 8 地下鉄を通すということについて、農家にとっては用地の買収など割を食う話ではないかと懸念している。
- 9 地下鉄7号線は重要な事業で、人を呼び込む事業を積極的に推進していく必要がある。
- 10 インターチェンジがある
- 11 商店街に活気がない
- 12 駅のまわりをもっと発展させるべき
- 13 コミュニティバスの充実

(6) 自助・共助・公助の連携による、地域防災力・防犯力の向上と高齢者や障害者、子育て世帯などが安心して暮らせる地域福祉社会の形成

1 高齢化・子どもが少ない

2 子育て支援政策

3 ハザードマップの回覧板での交付

4 定住の奨励

【Ⅱ】「岩槻区の将来像」の見直しに関するご意見

1 まちづくりで何をめざすかということを明確にすべきである。

【Ⅲ】その他のご意見（特に特定するポイントがない場合など）

1 地域にいる人だけでの子供会活動では難しくなっているので、他市に出て行った親子が参加できる仕組みを模索している。

2 人形会館の会議室を人形関係者以外も借りられるようお願いしたい。

3 歴史文化などいいものがあるが、何を推していくのかという点について区内でまとまりが無いのではないかと。

この点について、こうした会議体の中でロードマップなどが示されることを期待している。

4 人形博物館について、建物が完成して終わりではなく観光の拠点になることを期待している。

5 区の中で地域差がある。また、大学の誘致など、若い人を呼び込むような取り組みが必要では。

6 新駅周辺の区画整理を早急に進めるべきだと考えている。

7 まちづくりのポイントについて、現在の内容で素晴らしく、追加する点はないように感じる。

8 この様な会議を継続的に行いたい。

9 広さゆえの地域格差（交通、自然・公園、歴史）

後期基本計画

次期総合振興計画

自然と歴史、文化を守り育て、楽しむまち

自然と歴史、文化を守り育て、楽しむまち

岩槻区には豊かな緑と水辺、長い歴史を持つ神社仏閣、城下町や人形のまちとしての地域文化など、多彩な魅力があります。安心して心豊かな生活を送ることのできるまちの実現を基本に、これらの魅力を守り、生かしながら、農業や商工業、観光など産業面での新しい展開も促し、住んでいる人、訪れる人が岩槻のよさを共感できるまちづくりを進めます。

岩槻区には豊かな緑と水辺、長い歴史を持つ神社仏閣、城下町や人形のまちとしての地域文化など、多彩な魅力があります。安心して心豊かな生活を送ることのできるまちの実現を基本に、これらの魅力を守り、生かしながら、農業や商工業、観光など産業面での新しい展開も促し、住んでいる人、訪れる人が岩槻のよさを共感できるまちづくりを進めます。

まちづくりのポイント

まちづくりのポイント

1 多世代の参加と交流による、区民主役のまちづくり

1 多世代の参加と交流による、区民主役のまちづくり

- (1) 住民同士のふれあいなどによる活力豊かな地域コミュニティの醸成
- (2) 区民と行政が連携した地域コミュニティの活性化に必要な仕組みづくり
- (3) 住民があらゆる分野で交流し、多様な文化を認め合い、暮らしを支え合う身近な国際交流の推進
- (4) 区民と行政とのパートナーシップの確立、区民の主体的なまちづくり活動に対する支援などによる、区民と行政が共に考え、はぐくむまちづくりの推進
- (5) 人形づくりや田植えなどの様々な体験を通じた、子どもの地域に対する愛着心や誇り、喜びをはぐくむ地域交流や教育の推進

- (1) 住民同士のふれあいなどによる活力豊かな地域コミュニティの醸成
- (2) 区民と行政が連携した地域コミュニティの活性化に必要な仕組みづくり
- (3) 住民があらゆる分野で交流し、多様な文化を認め合い、暮らしを支え合う身近な地域社会の形成
- (4) 区民と行政とのパートナーシップの確立、区民の主体的なまちづくり活動に対する支援などによる、区民と行政が共に考え、はぐくむまちづくりの推進
- (5) 人形づくりや田植えなどの様々な体験を通じた、子どもの地域に対する愛着心や誇り、喜びをはぐくむ地域交流や教育の推進

2 地域資源を生かした、魅力とにぎわいを創出するまちづくり

2 地域資源を生かした、魅力の向上とにぎわいを創出するまちづくり

- (1) 元荒川や赤坂沼、屋敷林・雑木林や斜面林など豊かな自然環境を守り、育てる活動の充実と、水辺と緑のネットワーク化の推進
- (2) 子どもの頃から優れた文化芸術に触れる機会の充実、区民の多彩な文化芸術活動の促進など、豊かな文化環境づくりの推進による、個性ある地域文化の育成
- (3) 人形をはじめとする歴史や文化に根ざした「岩槻らしさ」を磨き、発信し、都市型観光の形成に向けた受入環境の整備
- (4) 環境に優しく、安全な食料を提供する農業の振興や観光農園、クワイ・コマツナ等農産物のブランド化の推進

- (1) 岩槻駅周辺の商業・文化機能の充実とにぎわいを創出するまちづくりの推進
- (2) 元荒川や屋敷林・雑木林や斜面林など豊かな自然環境を守り、育てる活動の充実と、水辺と緑のネットワーク化の推進
- (3) 子どもの頃から優れた文化芸術に触れる機会の充実、区民の多彩な文化芸術活動の支援など、豊かな文化環境づくりの推進による、個性ある地域文化の育成
- (4) 城下町としての歴史資源や、人形のまちという文化資源を生かした「岩槻らしさ」を磨き、市内外へ積極的に情報発信し、都市型観光の形成に向けた受入環境の整備
- (5) 環境に優しく、安全な食料を提供する農業の振興や、クワイ・コマツナ・ヨーロッパ野菜等農産物のブランド化の推進

3 生活環境の整った、安全・安心で暮らしやすいまちづくり

3 生活環境の整った、安全・安心で暮らしやすいまちづくり

- (1) 次代を担う自立した青少年の健全な育成の推進
- (2) スポーツなど健康づくりのための機会や場所の充実
- (3) 緑や水辺、歴史、文化が溶け合う美しい景観に恵まれた、ゆとりのある居住空間の維持、創出
- (4) 歩行者及び自転車利用者が安心して通行できる安全なみちづくり
- (5) 交通利便性の向上とにぎわいを創出する地下鉄7号線の延伸促進
- (6) 自助・共助・公助の連携による、地域防災力・防犯力の向上と高齢者や障害者、子育て世帯などが安心して暮らせる地域福祉社会の形成

- (1) 次代を担う自立した青少年の健全な育成の推進
- (2) スポーツなど健康づくりのための機会や場所の充実
- (3) 緑や水辺、歴史、文化が溶け合う美しい景観に恵まれた、ゆとりのある居住空間の維持、創出
- (4) 歩行者及び自転車利用者が安心して通行できるための交通安全意識の高揚と安全な道路整備の推進
- (5) 高齢者をはじめ誰もが安心して利用しやすい身近な交通環境の充実
- (6) 交通利便性の向上と若い世代の定住化促進や商店街の活性化を図るなど、更なるにぎわいの創出につながる地下鉄7号線の延伸促進
- (7) 自助・共助・公助の連携による、地域防災力・防犯力の向上
- (8) 高齢者や障害者、子育て世帯などが安心して暮らせる地域福祉社会の形成